

会員数	93,660	(前月比)	-	47
手配り	29,184	(前月比)	-	81
郵送	8,962	(前月比)	+	112
会員世帯数	40,678	(5/31現在)	[前月比	21減]
協同基金到達額	2,499,762,000円	(5/31現在)	[前月比	521,000増]
協同基金出資者数	22,033名	(5/31現在)		



発行
健康友の会 みみはら
本部事務局組織部
機関紙編集委員会
〒590-0821
堺市堺区大仙西町6丁184-2
Tel.072-244-8061
Fax.072-244-7860

1部30円

健康友の会みみはら第36回総代会

友の会結成40周年までに10万人の組織実現に向けて



5月27日、健康友の会みみはら第36回総代会が、代表世話人、代議員、来賓、オブザーバー、総勢110人の出席で行われました。みみはらホールで一堂に会しての開催は4年振りです。

『健康づくり』は『人づくり』を 合言葉に取り組みをすすめてよう！



議長の石田さん(左)と城さん(右)

建井副会長が開会を宣言。議長に鳳支部の石田代議員と美木多支部の城代議員を、資格審査に高石北支部の山中代議員とせず支部の中谷代議員を選出し、進行しました。主催者を代表して江戸会長は、「集っての総代会は4年振り。この1年は友の会活動も徐々に再開してきた。知恵を出し合い、活動を進めていきたいと思います。」と挨拶しました。来賓の大阪みなみ医療福祉生活協同組合の和田常務理事、日本共産党堺市会議員団森田議員から連帯の挨拶がありました。法人を代表して森専務理事からは、みみはら2030年の樹、鳳フリニツクの建設、地域包括ケア事業について報告。戦争する国づくりに向け

また、会則「みなし退会」「総代会の成立要件」の規定変更について、1年間の議論



議案提案をする篠原事務局長

て政府は社会保障を犠牲にする流れをつくってお

り、この1年は「たたか」と対応」の年になると決意を込めて述べられました。

篠原事務局長の「2022年度の総括と2023年度方針の提案」では、コロナで制限を受けた1年であったが、班づくり、班活動は少しずつ再開している。専門職による出前講座や理事長や幹部の支部訪問など、職員が地域に積極的足を出す気風が出来つつある。2024年の友の会40周年に向けて、鳳エリアの建替え運動、「みみはら2030年の樹」構想の実現に向けて、職員と一緒に行動する友の会活動を、との提案がありました。

また、会則「みなし退会」「総代会の成立要件」の規定変更について、1年間の議論

で次期総代会で確認決定するとの提案がありました。これを受けた討論では、①ふくみずみ支部での「鳳エリア建設運動と地域・会員訪問の取り組み」②健康増進室「フレイル予防体操の取り組みと結果について」③中区ブロック「出前講座を利用しての支部・班活動について」④もみ支部「目標達成にこだわった支部活動」⑤鳳支部「この1年の支部の取り組み(寺子屋・子ども食堂)」の報告で、議案の内容を深めました。

議案は全会一致で可決。新役員体制と総代会アピールも拍手で確認されました。閉会にあたって森島副会長が「5類になってもコロナは続きませんが、国の悪政に負けないで、油断せず楽しい1年にしていきましょう」と締めくくりました。



江戸会長

で次期総代会で確認決定するとの提案がありました。これを受けた討論では、①ふくみずみ支部での「鳳エリア建設運動と地域・会員訪問の取り組み」②健康増進室「フレイル予防体操の取り組みと結果について」③中区ブロック「出前講座を利用しての支部・班活動について」④もみ支部「目標達成にこだわった支部活動」⑤鳳支部「この1年の支部の取り組み(寺子屋・子ども食堂)」の報告で、議案の内容を深めました。

聴診器

三鷹事件 70年後の問いは2019年8月放映のNHKのドキュメンタリー。三鷹、下山、松川事件は1949(昭和24)年に起きた国鉄三大事件である。国鉄(現JR)の労働組合関係者が逮捕され、「単独犯行だと自白」した竹内景助さん1人に死刑判決が出た▼竹内死刑囚は執行前に獄死、病死であった。後頭部痛、記憶力低下を訴えていて接見した弁護士も異変に気づく。字が書けなくなっていたのだ。受診要請にも刑務官は拘禁反応だ、詐病だと応じない。死亡後の解剖結果は脳腫瘍だった。診断の遅れは拘留所の過失だと遺族には損害賠償が認められた▼この5月、入管法改定の国会審議で維新の女性参議院議員は2021年に亡くなったウイシユマさんの死因は詐病、ハンガーストライキも「根拠はないが否定できない」と主張し維新内部からも批判が出た。支援者からの依頼で東京民医連の医師が収容者のカルテ開示請求をし面談をする中で、体調不良を訴えているのに受診させない場合があることがわかった。政府は国際標準から著しくズレた人権感覚で入管法を改定しようとしている。竹内さんご遺族の再審請求も却下されたままである。(和)